

<参考2> 健全な病院経営(矢吹病院経営分析)

(単位：千円・%)				
	福島県	青森県	秋田県	栃木県
	県立矢吹病院	県立つくしが丘病院	市立大曲病院	県立岡本台病院
1. 施設の概要				
事業開始年月	S30.11.1	S51.6.1	S42.4.1	S34.8.1
病床数	206	230	120	267
100床当り医師数	3.7	3.5	3.3	4.5
100床当り看護職員数	43.3	46.7	32.5	50.2
2. 病院概要				
所在地の人口※矢吹は診療圏	281千人	293千人(青森市)	85千人(大仙市)	518千人(宇都宮市)
診療科	精神科/内科/歯科	精神科/神経科/歯科	精神科/神経科	精神科
3. 損益の状況				
病院事業収益	1,729,533	1,749,615	991,105	2,382,089
医業収益	919,634	1,227,290	771,080	1,925,141
入院収益	665,726	851,041	546,170	1,423,898
外来収益	177,828	349,354	221,069	491,415
他会計負担金		16,597		
医業外収益	809,157	522,325	220,025	456,948
他会計負担金	632,602	416,422	214,415	314,000
特別利益	742			
病院事業費用	1,769,247	1,708,313	959,943	2,449,128
医業費用	1,651,529	1,660,086	917,314	2,397,448
給与費	1,217,189	1,095,759	441,916	1,545,944
材料費	174,254	239,755	179,993	392,323
薬品費	124,616	224,117	169,414	318,720
診療材料費	10,392	15,638	10,579	22,577
経費	155,474	309,797	247,879	367,488
委託費	68,553	156,527	82,894	168,035
減価償却費	81,975	10,435	43,249	79,952
医業外費用	5,216	48,227	42,629	51,622
企業債利息	5,216	301	42,490	12,960
特別損失	112,502			58
純利益(損失)	-39,714	41,302	31,162	-67,039
医業収支(医業収益-医業費用)	-731,895	-432,796	-146,234	-472,307
4. 経営分析				
病床利用率(%)	62.1	62.5	93.1	75.0
平均在院日数	337.0	133.5	280.5	133.9
1日平均入院患者(人)	128	144	112	198
1日平均外来患者(人)	61	116	59	140
外来/入院比率(%)	31.6	53.8	35.7	47.4

※「平成25年度地方公営企業年鑑」等により作成(矢吹病院を除く) ※矢吹病院は平成26年度実績

区分	指標	望ましい方向	説明	計算式	結果
収益性分析 (医業収益の繰入金除く)	病床利用率(%)	↑	病床が効率的に稼働しているのか	(入院患者数÷稼働病床数)×100	1 市立大曲 93.1 2 岡本台 75.0 3 つくしが丘 62.5 4 矢吹 62.1
	入院患者1人1日当り診療収入(円)	↑	入院単価	入院収益÷年延入院患者数	1 岡本台 19,697 2 つくしが丘 16,218 3 矢吹 14,264 4 市立大曲 13,396
	外来患者1人1日当り診療収入(円)	↑	外来単価	外来収益÷年延外来患者数	1 市立大曲 15,178 2 岡本台 14,353 3 つくしが丘 12,368 4 矢吹 12,046
	経常収支比率(%)	↑	病院の収益性	(医業収益+医業外収益)÷(医業費用+医業外費用)×100	1 矢吹 104.3 2 市立大曲 103.2 3 つくしが丘 101.4 4 岡本台 97.3
	医業収支比率(%)	↑	純粋な医業活動の収益性	(医業収益÷医業費用)×100	1 市立大曲 84.1 2 岡本台 80.3 3 つくしが丘 73.9 4 矢吹 55.7
生産性分析 (医業収益の繰入金除く)	給与費比率(%)	↓	投入した経営資源(人・円・金など)により、効率的に医業収益をあげているか	(給与費÷医業収益)×100	1 市立大曲 57.3 2 岡本台 80.3 3 つくしが丘 90.5 4 矢吹 132.4
	材料費比率 ※材料費：薬品費、診療材料費など(%)	↓		(材料費÷医業収益)×100	1 矢吹 18.9 2 つくしが丘 19.8 3 岡本台 20.4 4 市立大曲 23.3
	経費比率 ※経費：委託料、光熱水費など(%)	↓		(経費÷医業収益)×100	1 矢吹 16.9 2 岡本台 19.1 3 つくしが丘 25.6 4 市立大曲 32.1
	減価償却費比率(%)	↓		(減価償却費÷医業収益)×100	1 つくしが丘 0.9 2 岡本台 4.2 3 市立大曲 5.6 4 矢吹 8.9
	医師1人1日当り診療収入(円)	↑		(入院収益+外来収益)÷年延医師数	1 市立大曲 500,482 2 つくしが丘 477,294 3 岡本台 471,984 4 矢吹 303,546
	看護師1人1日当り診療収入(円)	↑		(入院収益+外来収益)÷年延看護師数	1 岡本台 39,497 2 市立大曲 36,671 3 つくしが丘 30,204 4 矢吹 27,575



<参考2> 健全な病院経営(宮下病院経営分析)

(単位：千円・%)				
	福島県	青森県	宮城県	茨城県
	県立宮下病院	六戸町国保病院	石巻市立牡鹿病院	笠間市立病院
1. 施設の概要				
事業開始年月	S26.11.1	S33.4.1	S17.4.1	S34.2.1
病床数	32	30	25	30
100床当り医師数	14.7	10	20.4	18.3
100床当り看護職員数	66.9	55	96	78
2. 病院概要				
所在地の人口※宮下は診療圏	8千人	10千人(六戸町)	149千人(石巻市)	76千人(笠間市)
診療科	内科/整形外科/皮膚科/耳鼻いんこう科/神経精神科/循環器内科	内科/外科/小児科/皮膚/泌尿器科	内科/外科/歯科	総合診療科/皮膚科/禁煙・特別外来/睡眠時無呼吸/もの忘れ外来
3. 損益の状況				
病院事業収益	665,473	496,210	615,664	606,242
医業収益	339,663	428,377	392,533	528,644
入院収益	164,641	95,774	54,937	162,673
外来収益	107,864	281,540	262,202	274,754
他会計負担金		42,152	61,779	63,818
医業外収益	325,617	66,633	223,131	69,501
他会計負担金	251,218	14,658	77,691	793
特別利益	193	1,200		8,097
病院事業費用	673,594	510,418	601,283	592,222
医業費用	641,581	507,545	585,539	574,605
給与費	408,338	244,637	280,566	298,711
材料費	45,533	146,980	137,697	144,196
薬品費	26,835	124,683	129,655	126,116
診療材料費	17,618	18,880	8,042	14,266
経費	126,197	100,810	162,105	110,684
委託費	75,754	42,986	54,113	54,405
減価償却費	42,834	14,326	3,878	19,630
医業外費用	2,694	2,873	15,744	13,816
企業債利息	2,694	2585	85	1,236
特別損失	29,319			3,801
純利益(損失)	-8,121	-14,208	14,381	14,020
医業収支(医業収益-医業費用)	-301,918	-79,168	-193,006	-45,961
4. 経営分析				
病床利用率(%)	54.0	36.5	25.9	58.5
平均在院日数	15.8	13.6	18.7	20
1日平均入院患者(人)	17	11	6	18
1日平均外来患者(人)	63	87	83	101
外来/入院比率(%)	242.4	534	854.5	383.6

※「平成25年度地方公営企業年鑑」等により作成(宮下病院を除く) ※宮下病院は平成26年度実績

区分	指標	望ましい方向	説明	計算式	結果
収益性分析 (医業収益の繰入金除く)	病床利用率(%)	↑	病床が効率的に稼働しているか	(入院患者数÷稼働病床数)×100	1 笠間市立 58.5 2 宮下 54.0 3 六戸町国保 36.5 4 石巻市立牡鹿 25.9
	入院患者1人1日当り診療収入(円)	↑	入院単価	入院収益÷年延入院患者数	1 宮下 26,125 2 笠間市立 25,374 3 六戸町国保 23,973 4 石巻市立牡鹿 23,219
	外来患者1人1日当り診療収入(円)	↑	外来単価	外来収益÷年延外来患者数	1 六戸町国保 13,197 2 石巻市立牡鹿 12,969 3 笠間市立 11,171 4 宮下 7,061
	経常収支比率(%)	↑	政策医療分の繰入後の病院の収益性	(医業収益+医業外収益)÷(医業費用+医業外費用)×100	1 宮下 103.3 2 石巻市立牡鹿 92.1 3 笠間市立 90.8 4 六戸町国保 88.7
	医業収支比率(%)	↑	純粋な医業活動の収益性	(医業収益÷医業費用)×100	1 笠間市立 92.0 2 六戸町国保 84.4 3 石巻市立牡鹿 67.0 4 宮下 52.9
生産性分析 (医業収益の繰入金除く)	給与費比率(%)	↓	投入した経営資源(人・モノ・金など)により、効率的に医業収益をあげているか	(給与費÷医業収益)×100	1 六戸町国保 63.3 2 笠間市立 64.3 3 石巻市立牡鹿 84.8 4 宮下 120.2
	材料費比率 ※材料費：薬品費、診療材料費など(%)	↓		(材料費÷医業収益)×100	1 宮下 13.4 2 笠間市立 31.0 3 六戸町国保 38.1 4 石巻市立牡鹿 41.6
	経費比率 ※経費：委託料、光熱水費など(%)	↓		(経費÷医業収益)×100	1 笠間市立 23.8 2 六戸町国保 26.1 3 宮下 37.2 4 石巻市立牡鹿 49.0
	減価償却費比率(%)	↓		(減価償却費÷医業収益)×100	1 石巻市立牡鹿 1.2 2 六戸町国保 3.7 3 笠間市立 4.2 4 宮下 12.6
	医師1人1日当り診療収入(円)	↑		(入院収益+外来収益)÷年延医師数	1 六戸町国保 344,579 2 石巻市立牡鹿 243,391 3 笠間市立 217,842 4 宮下 158,525
	看護師1人1日当り診療収入(円)	↑		(入院収益+外来収益)÷年延看護師数	1 六戸町国保 62,980 2 笠間市立 51,215 3 石巻市立牡鹿 41,375 4 宮下 39,041



<参考2> 健全な病院経営(南会津病院経営分析)

(単位：千円・%)

	福島県	青森県	秋田県	岩手県
	県立南会津病院	つがる西北五広域 連合鰺ヶ沢病院	市立田沢湖病院	県立東和病院
1. 施設の概要				
事業開始年月	S24. 7. 1	H24.3.14	S33. 5.16	H25.11.1
病床数	98	100	60	68
100床当り医師数	13.5	12.8	5	6.6
100床当り看護職員数	90.9	48.4	48.3	56.9
2. 病院概要				
所在地の人口※南会津は診療圏	27千人	11千人(鰺ヶ沢町)	28千人(千北市)	99千人(花巻市)
診療科	内科/外科/整形外科/小児科/麻酔科/耳鼻いんこう科/眼科/婦人科/皮膚科/神経精神科/神経内科/泌尿器科/漢方内科	内科/外科/整形外科/婦人科/小児科/眼科/耳鼻咽喉科/歯科	内科/外科/整形外科/皮膚科/脳神経外科/神経内科/呼吸器内科/泌尿器科/耳鼻咽喉科	内科/消化器科/外科/リハビリテーション科
3. 損益の状況				
病院事業収益	2,341,206	1,736,073	1,030,174	986,571
医業収益	1,403,053	1,534,805	912,490	882,843
入院収益	657,651	526,981	381,132	569,697
外来収益	603,714	857,675	498,326	261,889
他会計負担金	43,599	124,932		29,599
医業外収益	936,496	179,268	117,684	103,728
他会計負担金	590,455	41,291	100,579	49,145
特別利益	1,657	22,000		
病院事業費用	2,350,007	1,668,229	1,138,069	977,702
医業費用	2,151,043	1,615,073	1,085,620	892,148
給与費	1,184,982	606,174	368,971	624,751
材料費	287,001	573,086	332,884	149,765
薬品費	149,750	494,765	291,207	104,314
診療材料費	133,803	78,321	34,517	32,754
経費	417,118	394,033	320,310	88,156
委託費	219,672	133,104	57,993	22,571
減価償却費	229,000	39,723	61,921	23,418
医業外費用	128,237	51,785	52,449	85,554
企業債利息	128,237	224	21,452	39,459
特別損失	70,727	1,371		
純利益(損失)	-8,801	67,844	-107,895	8,869
医業収支(医業収益-医業費用)	-747,990	-80,268	-173,130	-9,305
4. 経営分析				
病床利用率(%)	58.5	51.8	77.8	90.2
平均在院日数	14.2	19.3	66.7	22.7
1日平均入院患者(人)	57	52	47	61
1日平均外来患者(人)	264	222	124	103
外来/入院比率(%)	308	286.8	178.2	112.7

※「平成25年度地方公営企業年鑑」等により作成(南会津病院を除く)※南会津病院は平成26年度実績

区分	指標	望ましい方向	説明	計算式	結果
収益性分析 (医業収益の繰入金除く)	病床利用率(%)	↑	病床が効率的に稼働しているか	(入院患者数÷稼働病床数)×100	1 東和 90.2 2 市立田沢湖 77.8 3 南会津 58.5 4 鰺ヶ沢 51.8
	入院患者1人1日当り診療収入(円)	↑	入院単価	入院収益÷年延入院患者数	1 南会津 31,444 2 鰺ヶ沢 27,856 3 東和 25,459 4 市立田沢湖 22,379
	外来患者1人1日当り診療収入(円)	↑	外来単価	外来収益÷年延外来患者数	1 市立田沢湖 16,421 2 鰺ヶ沢 15,810 3 東和 10,383 4 南会津 9,371
	経常収支比率(%)	↑	政策医療分の繰入後の病院の収益性	(医業収益+医業外収益)÷(医業費用+医業外費用)×100	1 南会津 100.7 2 東和 97.9 3 鰺ヶ沢 95.3 4 市立田沢湖 90.5
	医業収支比率(%)	↑	純粋な医業活動の収益性	(医業収益÷医業費用)×100	1 東和 99.0 2 鰺ヶ沢 95.0 3 市立田沢湖 84.1 4 南会津 65.2
生産性分析 (医業収益の繰入金除く)	給与費比率(%)	↓	投入した経営資源(人・モノ・金など)により、効率的に医業収益をあげているか	(給与費÷医業収益)×100	1 市立田沢湖 40.4 2 鰺ヶ沢 43.0 3 東和 73.2 4 南会津 87.2
	材料費比率※材料費：薬品費、診療材料費など(%)	↓		(材料費÷医業収益)×100	1 東和 17.6 2 南会津 21.1 3 市立田沢湖 36.5 4 鰺ヶ沢 40.6
	経費比率※経費：委託料、光熱水費など(%)	↓		(経費÷医業収益)×100	1 東和 10.3 2 鰺ヶ沢 27.9 3 南会津 30.8 4 市立田沢湖 35.1
	減価償却費比率(%)	↓		(減価償却費÷医業収益)×100	1 東和 2.7 2 鰺ヶ沢 2.8 3 市立田沢湖 6.8 4 南会津 16.8
	医師1人1日当り診療収入(円)	↑		(入院収益+外来収益)÷年延医師数	1 東和 640,174 2 市立田沢湖 415,819 3 鰺ヶ沢 396,636 4 南会津 262,075
	看護師1人1日当り診療収入(円)	↑		(入院収益+外来収益)÷年延看護師数	1 鰺ヶ沢 81,145 2 市立田沢湖 75,665 3 東和 49,535 4 南会津 45,816